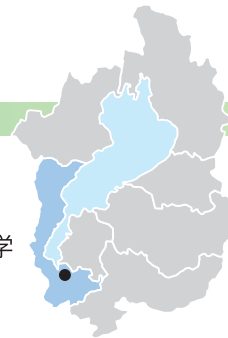


3 滋賀医科大学医学部附属病院



所在地 大津市瀬田月輪町
開設者 国立大学法人滋賀医科大学
開設年月日 昭和53年4月1日
病院長 田中 俊宏

病床数 596床	外来患者数 1233人 (1日平均)	入院患者数 498人 (1日平均)
医師数 406人 男性308人 女性98人	指導医数 219人	臨床研修医数 65人 男性40人 女性25人

基本19領域診療科目

整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療

病院の/ アピールポイント

医師臨床教育センター長 川崎 拓

本院ではエキスパート医師から専攻医まで多数在籍しており、全診療科に教育医長を配置した責任ある指導体制のもと、身近なロールモデルの先生が多く在籍しているため、将来の目標となる医師像を必ず見つけられます。

初期研修では豊富な選択肢の5つの研修プログラムを用意しています。大学病院での研修が中心の標準型総合研修Aプロと周産・母子型Bプロでは、2年目に最大4ヵ月間希望する協力型病院（1ヵ月単位で最大4ヵ所選択）での京都・滋賀地区の院外研修が可能です。それに加え、全国的にも札幌医科大学、鹿児島市立病院NICU、千里救命救急センターでも研修できます。1年目協力型病院Cプロでは、18ヵ所ある京都・滋賀の協力型病院（大津赤十字病院も加わりました）の中から希望で選択し研修できます。その他、基礎研究医コース、地域医療重点コースも設置しています。

初期研修修了後の新専門医制度では、本院のほとんどの診療科は新専門医制度での基幹病院であるため、初期研修から後期研修へとシームレスな研修で専門医が取得できます。

豊富な選択肢の揃う当院で、研修しながら将来やりたいことを見つけませんか？研修病院は手技や技術を身につける所だけではなく、我々は2年間の初期研修だけでなく、研修修了後も皆さんが一人前になるまでサポートします。



研修医 仲 真友子

Bプログラム（周産母子研修コース）の2年目に入りました。研修医の成長を真剣に考えてくださる指導医の先生方と、気軽に相談し合える同期に恵まれたことが良かったと思っています。

1年目は内科の6診療科に加え小児科、産婦人科、麻酔、救急、外科と盛りだくさんでした。2年目の9ヵ月間は滋賀県内外の多数の協力型病院も含め自由に診療科を選択し、さらに精神科、救急、地域研修を行います。これからの医師としてのキャリアを考えたときに、全診療科が揃った大学病院で、専門医の指導のもとに豊富な症例を経験し、基礎的な知識と実践力を幅広く身につけることができるのは有利益だと思います。

初期臨床研修医が所属する医師臨床教育センターには教授をはじめ多くのスタッフがおられます。研修する診療科の選択や日々の実習に対するアドバイスなどサポートが充実しています。また、出身大学による分け隔ての無い研修体制もお勧めの一つです。研修医控室も広くて居心地が良く、日々縦横の情報交換が行われています。ぜひ当院で一緒に働きましょう！皆さんと一緒に働ける日を心より楽しみにお待ちしております。



誠意と向上心を持ち、より高いレベルを目指す研修医を求めます

救急や総合診療もより充実、研修中に将来の専門を選択できます

研修プログラムの目的、特徴

滋賀医科大学での臨床研修は、患者さんから信頼される全人的医療を行うことができる医師を育てていくことです。このためには患者さんや指導医、上級医、同僚を含めた周囲の人々とのコミュニケーション能力が基本となります。

本院では、初期トレーニング段階でルールに慣れていくためのオリエンテーションや採血講習、BLSなど各種トレーニングコースを設定しています。プライマリ・ケアから3次救急まで、多角的な医療現場のニーズに対応可能な医師の育成に努めています。

☆プライマリケアから2次・3次救急にいたる幅広い実践研修

☆見学だけに終わらない実地医療

☆多数の指導医によるマンツーマン指導

☆研修医約70名のコンパクトな医科大学です。

☆東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院との連携による総合内科・総合外科研修(Aプログラム、地域医療重点プログラム)

☆2年目の自由選択科ローテ中も、希望で救急アドバンスコースも選択可能

☆3年目以降の専門研修を視野に入れた多彩なプログラム(A～C、基礎研究医)

プログラム名	1年目	2年目	募集人数
Aプログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学40週(うち協力型病院で最大4ヵ月) 東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院から選択4週	13人
Bプログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学44週(うち協力型病院で最大4ヵ月)	4人
Cプログラム	協力型病院	滋賀医科大学	16人
地域医療重点プログラム	滋賀医科大学	医師少数地域で12週間研修	1人
※ 基礎研究医プログラム	滋賀医科大学	滋賀医科大学20～28週(うち協力型病院で最大2ヵ月) 基礎研究医研修16～24週	1人

※ 通常の選考スケジュールとは異なるため、HPを要確認。

研修スケジュール例 (Aプログラム)

1年目	24週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	内科 (うち内科1つは総合診療3週を含む)	外科	救急	救急or 麻酔科	小児科	産婦人科	精神科
2年目	32週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	自由選択科 (最大4ヵ月間、協力型病院にて院外研修可能)	救急	地域研修	外科 (選択)	東近江or JCHO滋賀or 公立甲賀		

Bプログラム(周産母子研修コース)では産婦人科・小児科合計12週必修とする。

Cプログラム(1年目協力型病院研修コース)では1年目を協力型病院18ヵ所より選択し、研修する。

研修協力病院、研修協力施設

(研修協力病院) 大津赤十字病院、市立大津市民病院、淡海医療センター、JCHO滋賀病院、滋賀県立総合病院、公立甲賀病院、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、彦根市立病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院、高島市民病院、市立野洲病院、日野記念病院、湖東記念病院、済生会滋賀県病院、医仁会武田総合病院、宇治徳洲会病院、京都医療センター、京都岡本記念病院、京都桂病院、洛和会音羽病院、札幌医科大学、鹿児島市立病院等
(研修協力施設) 弓削メディカルクリニック、永源寺診療所、きづきクリニック、喜界徳洲会病院、その他草津・栗東地域を中心に多くの診療所等

募集要項

- [応募資格] 医師臨床研修マッチングに参加し、第120回医師国家試験を受験予定の者
[募集人数] Aプログラム13人、Bプログラム4人、Cプログラム16人、地域医療重点プログラム基礎研究医プログラム1名 計35名
※地域医療重点プログラム、基礎研究医プログラムは通常の選考スケジュールとは異なりますので、詳細は滋賀医科大学医師臨床教育センターのHPを必ずご確認ください。
[試験日程] 【第1回】令和7年8月1日(金) 【第2回】令和7年8月29日(金)
[選考方法] 筆記試験 学外募集者は引き続き面接
[処遇] 基本給 月額9,100円、臨床研修手当 月額162,000円(オンコール手当7,000円、呼び出し有:3,000円、月4回限度含む。)
※月収約344,000円、年収約4,128,000円
[宿舎] 有 13戸
[その他] 通勤手当、健康保険、厚生年金保険

育児支援の取組

- ・院内保育
- ・短時間正職員制度
- ・時間外勤務免除、緩和
- ・オンコール勤務の免除、緩和
- ・交代勤務の免除、緩和

など



応募連絡先

滋賀医科大学医学部附属病院

- [所在地] 大津市瀬田月輪町
●JR瀬田駅、南草津駅 バス15分
●新名神高速 草津上IC 5分
[担当部署] 医師臨床教育センター病院研修係 原・伊藤
[電話] 077-548-2436
[FAX] 077-548-2832
[E-mail] kensyu@belle.shiga-med.ac.jp

